



令和4年7月14日

# 蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校  
文責：校長 柿林 浩彦

第14号

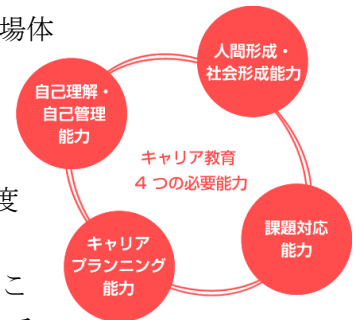
## マナー講座を実施しました

～呉信用金庫の皆様にご指導いただきました～

本年度は、3年ぶりに「呉市キャリア・スタート・ウィーク（3日間の職場体験）」を8月23日（火）～25日（木）に行うことになりました。「呉市キャリア・スタート・ウィーク（3日間の職場体験）」は、地域の教育力を最大限に活用し、3日間の職場体験を行うことによって、一人一人の生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる「基礎的・汎用的能力」や態度を育てることを目標としています。

また、学校で行っているキャリア教育では、「社会的・職業的に自立すること」を目標としており、3日間の職場体験は大変意義のある活動です。そして、3日間の職場体験をより有意義にするため、事前指導や事後指導も充実させていきたいと思っています。

事前指導として、お世話になる事業所を決定し、その事業所にアポイントをとって事前訪問するために「マナー講座」も行いました。「マナー講座」の実施については、呉信用金庫下蒲刈支店長 久後 龍也 様にご相談したところ、快く引き受けていただきました。そして、7月6日（水）の4校時に、呉信用金庫人事部 脇田 哲也 様、栗久 真紀 様を講師にお招きし「マナー講座」を実施することができました。脇田様に様々な場面を想定した言葉や対応などを説明していただいたり、栗久様には模範を示していただいたりしました。生徒たちも1人ずつ実際にみんなの前で実演したり、電話での対応をしたりするなどすることで有意義な時間を過ごすことができました。社会人の方から直接ご指導いただくことは普段はありませんので、生徒の皆さんも緊張しながらも精一杯頑張っていました。また、「3日間の職場体験」に向けてのモチベーションも更にアップしたと思います。呉信用金庫の皆様、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。なお、生徒の皆さんの感想は、第2学年通信「Challenge」No.9で紹介していますので、ご覧ください。



## 海洋ゴミ専用ごみ箱「拾い箱」が披露されました ～県民の浜に設置されています～

7月10日（日）、県民の浜「海開き行事」が行われました。3年ぶりの「海開き行事」でしたが、多数の来賓及び地域の方々が参加されての開催となりました。来賓の方とあいさつや安全法要が行われた後、海洋ゴミ専用のごみ箱である「拾い箱」の披露がありました。



この「拾い箱」は、一時的な海岸清掃にとどまらず、地域住民をはじめとした海を訪れた誰もがいつでも漂着ごみを回収できる環境を整えることで、各地域での海洋ゴミの削減に資するために設置するものです。このたび、蒲刈B&G様から、蒲刈小学校、蒲刈中学校、呉市立呉高等学校の3校に、「拾い箱」を飾るための絵を生徒の皆さんに描いていただきたいと要望がありました。本校も喜んで引き受けるとともに、すぐに生徒の皆さんにアイデアスケッチを募集しました。その結果、9名の生徒の皆さんのアイデアスケッチや言葉を選出しました。そして、それらの絵や言葉が鮮やかに飾られている「拾い箱」2個が県民の浜に設置されました。この事業によってつくられた「拾い箱」は、現在、全国に4箇所しかなく、そのうちの1つが生徒の皆さんの絵や言葉とともに県民の浜に設置されています。

この夏休みに県民の浜へ遊びに行くことがありましたら、是非、海洋ゴミを拾って「拾い箱」へ捨てに行ってください。そして、蒲刈小学校、蒲刈中学校、呉市立呉高等学校の生徒の皆さんの作品を見てほしいと思います。

また、蒲刈B&G様には、生徒の皆さんの絵がプリントされたエコバックをいただくなど、大変お世話になりました。ありがとうございました。

